

イントラネットによる ISO14001対応 文書管理システム

桜井 宏* 譚 澤華**
小林正幸**
小林義人*

要旨

ISO14000シリーズのうち、ISO14001は、環境マネジメントシステム構築に関する要求が示されており、対象サイトがその要求事項に適合しているか否かに関する第三者機関による審査が前提となっている。適合と判断された場合は審査登録される。ISO14001の受審及び維持審査を行う場合のポイントの一つに、文書管理を挙げることができる。

したがって、ISO14001を認証取得し、効率的に維持していくためには、電子的な文書管理システムの導入が必要である。このようなニーズに対し、三菱電機(株)設計システム技術センター(以下“設技セ”という。)は、汎用的に用いることができる共通的な機能を持つ文書管理システムのプラットフォームを構築した。さらにこの共通プラットフォームを用いて、社内ユーザー向けにはISO14001対応文書管理システム“設技セ ISO14001文書管理システム”を、社外ユーザー向けには“認規物(にんきもの)：イントラネットオプション”を開発した。

ISO14001対応文書管理システムの特長を以下に示す。

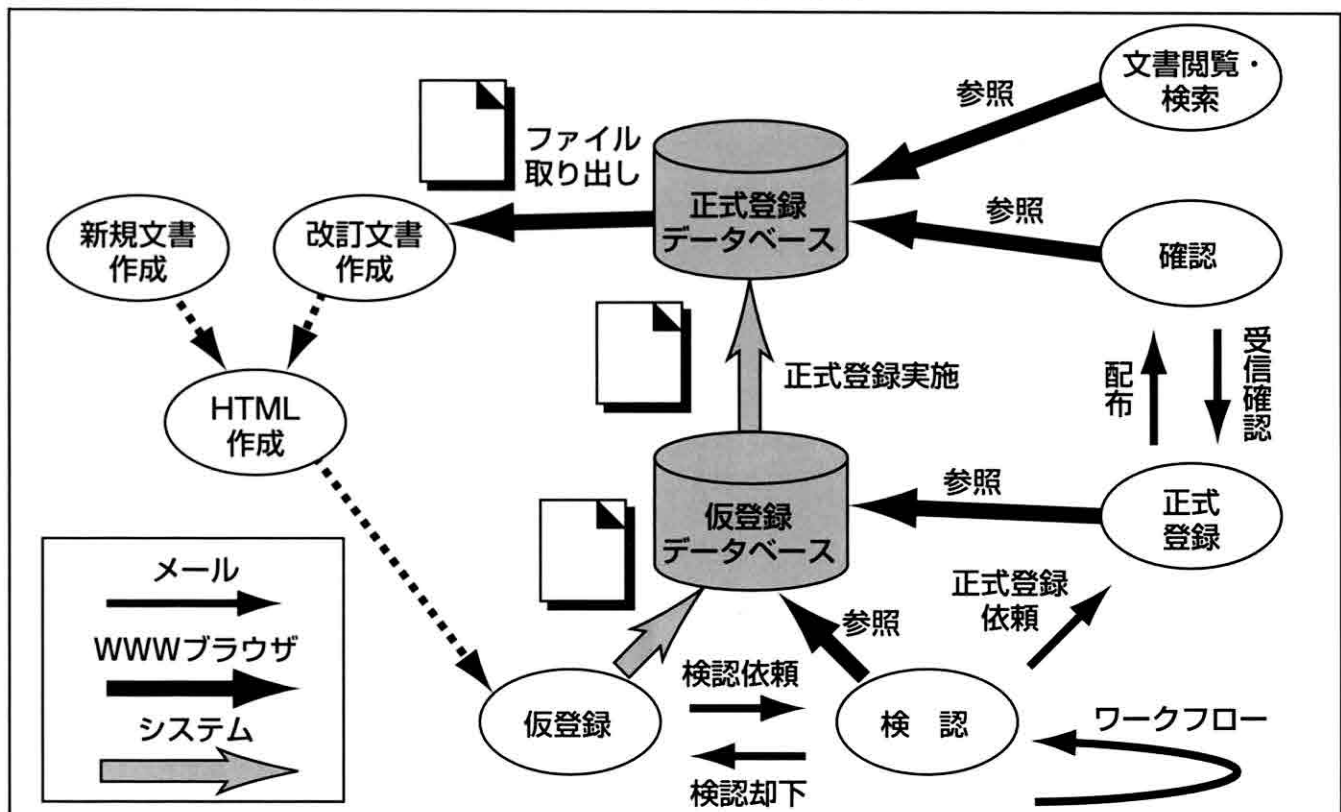
(1) 文書のライフサイクル管理

- (2) ISO14001準拠の枠組みを提供
- (3) 文書改訂履歴の一元管理
- (4) 文書授受管理の効率化
- (5) ワークフローによる業務フロー管理
- (6) セキュリティ機能の充実

設技セ ISO14001文書管理システムは、1997年3月から社内ユーザー向けにリリース中である。認規物イントラネットオプションは、'97年8月から製品リリースを開始する。

両システムは、ISO対応の文書管理システムとしての導入はもとより、ISO管理対象外の一般文書を含む企業内の電子ファイリングシステムとして導入が可能である。今後は、全文検索機能の拡充、構造化文書(SGML(Structured Generalized Markup Language)文書)への対応などを行う予定である。

また、環境影響評価機能や内部監査機能などを取り込み、ISO14001環境認証取得支援システムとして機能強化を行う予定である。



ISO14001対応文書管理システムの機能構成

このシステムは、ISO14001準拠の文書のライフサイクル管理、サーバによる文書一元管理、セキュリティ管理、レポート機能等で構成されている。